

「双葉」

令和2年度 竜北西部小学校 学校便り 第6号

文責 校長 高橋 博之

学校ホームページ <https://es.higo.ed.jp/ryuhokuw/>

～魂燃える大合戦～令和2年度運動会を終えて

先日行われた運動会、保護者の皆様には11日(日)の除草作業から、前日準備・当日の片付けとご協力いただき本当にありがとうございました。今年は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、競技を見直し半日開催とし、入場者を制限するなど、これまでにない対応を行いましたが、皆様のご協力子ども達の元気に活躍する姿を披露することができました。特に6年生は、小学校最後の年に多くの行事が中止や規模縮小となる中、少しでも思い出深い運動会になるよう、学校が休みの日も出てきてシンボル画を仕上げるなどの頑張りを見せてくれました。



当日は、家族単位でお弁当を囲む時間を設けました。子ども達からは「お母さんの唐揚げめっちゃうまかった!」「家族で食べる弁当はおいしかった。」との声が聞かれ、子ども達にとっては競技だけでなく、家族とお弁当を食べることも、何よりの思い出となったようです。

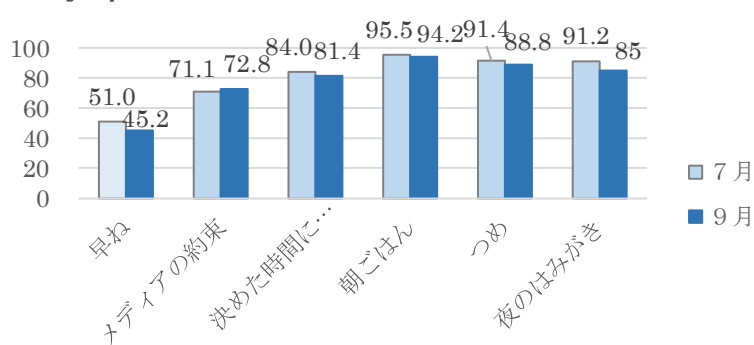
まだしばらくは、感染症対策を行いながらの生活が続くと思われませんが、これからも「元気いっぱいの竜西っ子」を支えていただきますよう、よろしくお願い致します。

「正しい乗り方で、命をまもろう!」～交通教室の実施～



10月9日(金)に八代警察署の交通安全協会より講師を招き、3年生を対象とした交通教室を行いました。まずは、自転車に安全に乗るための5つの約束(自転車安全利用五則)について、図などを使ってわかりやすく教えていただきました。ヘルメットの正しいかぶり方、見通しの悪い場所から道路に出るときの注意点、歩道は歩行者が優先で自転車が加害者になる交通事故も多いなどの話がありました。続いて、運動場にひいたラインを道路に見立てて、実際に自転車に乗り安全な停止の仕方や横断歩道のわたり方など教えていただきました。本町内は、国道・県道をはじめ交通量が多い道路があり、過去には大変悲しい事故も発生しています。子ども達の大切な「命」を守るために、ご家庭でも交通安全について話題にさせていただくとありがたいです。

全学年



家族でチェックカード集計結果より

このグラフは、「家族でチェックカード」の7月(左)と9月(右)集計結果を比較したものです。

「早ね」を例に見方を示すと、決められた3日間(9月は15～17日)に、3日とも早ねができた人は45.2%といった具合です。「つめ」は、3日間のうち1回でも切れば「できた」こととなります。

グラフから分かるとおり、特に気になるのは、「早ね」です。児童の半分近くが「早ね」ができていないという結果は大きな課題です。「早ね」ができなければ、「早起き」ができず、そうすると「朝ごはん」を食べる時間が十分でない→慌てて登校→朝食のエネルギーがないため「授業に集中できない」「体温が上がらない(風邪をひきやすい)」などの悪循環に陥ります。「早寝・早起き・朝ごはん」運動が推奨されて十数年が経ちます。「早ね」ができていない原因はどこにあるのか、その解決のためにはどうすればいいのか、考えていく必要があります。

教育基本法 第十条(家庭教育)には、「父母その他の保護者は、子の教育について第一義的責任を有するものであるが、生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。」とあります(下線は高橋加筆)。

学校は保護者やCSと一体となって、この課題の解決に取り組んでいきますが、子ども達にとって育ちの基盤となるのはやはり家庭です。学びの土台となる「基本的な生活習慣」は、「今」だけではなく「未来」に大きな影響を与えるものだと思います。お子さんの今の生活の様子について、再度の確認・改善をお願いします。